

# 平成28年(2016年)10月の結果 (二人以上の世帯)

## 消費支出

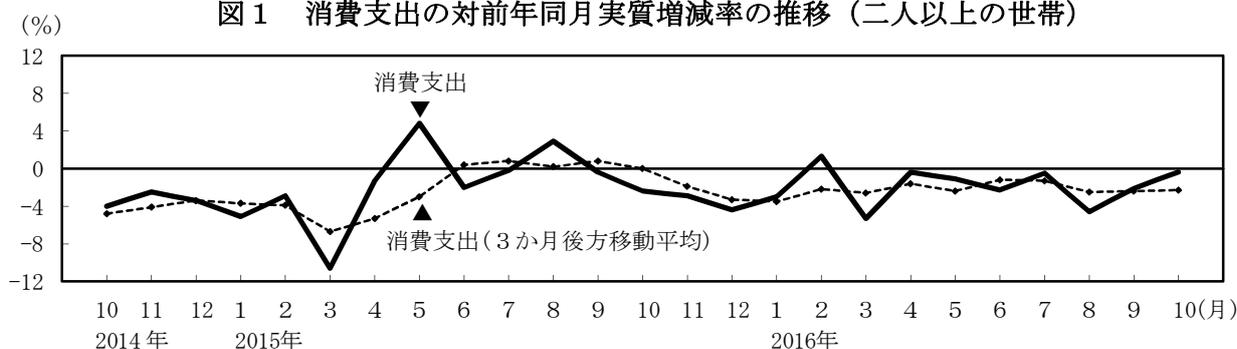
・消費支出は、1世帯当たり 281,961 円  
 前年同月比 実質 0.4%の減少 名目 0.2%の減少  
 前月比(季節調整値) 実質 1.0%の減少

・消費支出(除く住居等)は、1世帯当たり 242,269 円  
 前年同月比 実質 0.1%の減少 名目 0.1%の増加  
 前月比(季節調整値) 実質 1.5%の減少

「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

## 1 消費支出の推移

図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)

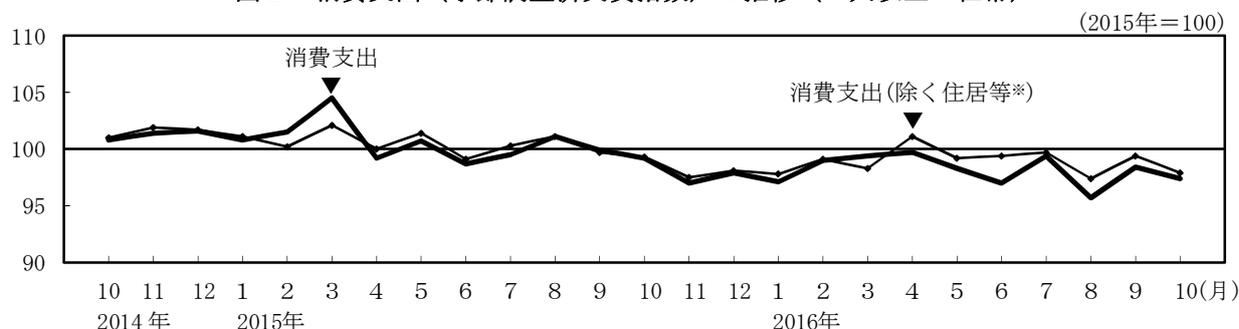


	2015年			2016年									
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
消費支出	-2.4	-2.9	-4.4	-3.0	1.3	-5.3	-0.4	-1.1	-2.3	-0.5	-4.6	-2.1	-0.4
消費支出(除く住居等)	-2.4	-2.9	-4.3	-2.7	2.0	-4.3	0.4	-0.9	-0.4	-0.8	-3.1	-0.6	-0.1
(参考)3か月後方移動平均													
消費支出	0.0	-1.9	-3.3	-3.5	-2.2	-2.6	-1.6	-2.4	-1.2	-1.3	-2.5	-2.4	-2.3
消費支出(除く住居等)	-0.4	-2.0	-3.3	-3.4	-1.9	-1.9	-0.8	-1.7	-0.3	-0.8	-1.5	-1.5	-1.3

注 3か月後方移動平均は、さう勢的な動向を見るため、当月を含む直近3か月間の金額を平均した値である。

ここでは対前年同月実質増減率を表章している。

図2 消費支出(季節調整済実質指数)の推移(二人以上の世帯)



	2015年			2016年									
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
消費支出	99.2	97.0	97.9	97.1	99.0	99.4	99.7	98.3	97.0	99.4	95.7	98.4	97.4
対前月変化率(%)	-0.7	-2.2	0.9	-0.8	2.0	0.4	0.3	-1.4	-1.3	2.5	-3.7	2.8	-1.0
消費支出(除く住居等)	99.3	97.5	98.1	97.8	99.1	98.3	101.1	99.2	99.4	99.7	97.4	99.4	97.9
対前月変化率(%)	-0.4	-1.8	0.6	-0.3	1.3	-0.8	2.8	-1.9	0.2	0.3	-2.3	2.1	-1.5

注1 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。

注2 季節調整値は、毎年1月結果公表時に、過去に遡って改定している。

## 2 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（2016年10月 - 二人以上の世帯）

項目	金額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	摘要	備考
		名目	実質			
消費支出	281,961	-0.2	-0.4	-		8か月連続の実質減少
食料	73,493	1.3	-1.0	-0.26	<減少> 野菜・海藻, 穀類など	3か月連続の実質減少
住居	19,276	-1.4	-1.6	-0.11	<減少> 家賃地代	3か月連続の実質減少
光熱・水道	18,130	-0.3	6.1	0.39	<増加> 電気代, 上下水道料など	2か月連続の実質増加
家具・家事用品	10,362	1.8	2.8	0.10	<増加> 寝具類, 家事用消耗品など	2か月連続の実質増加
被服及び履物	11,581	1.0	-0.2	-0.01	<減少> 和服, 他の被服など	5か月連続の実質減少
保健医療	12,602	-3.9	-4.9	-0.23	<減少> 保健医療サービス, 医薬品	2か月連続の実質減少
交通・通信	38,566	-1.8	-0.1	-0.01	<減少> 自動車等関係費, 交通	2か月ぶりの実質減少
教育	12,634	-1.3	-2.8	-0.13	<減少> 補習教育	6か月連続の実質減少
教養娯楽	28,361	2.8	1.8	0.17	<増加> 教養娯楽サービス, 教養娯楽用耐久財	2か月連続の実質増加
その他の消費支出	56,957	-1.3	(-1.5)	(-0.30)	<減少> こづかい, 交際費など	3か月連続の実質減少
消費支出 (除く住居等)	242,269	0.1	-0.1	-		6か月連続の実質減少

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の（ ）内は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

### 消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中分類	実質寄与度	品目
<減少項目>		
自動車等関係費	[-0.54]	自動車購入, 自動車等関連用品
交際費	[-0.28]	贈与金, つきあい費
野菜・海藻	[-0.20]	ほうれんそう, レタス
保健医療サービス	[-0.20]	医科診療代
穀類	[-0.15]	米
<増加項目>		
通信	[0.55]	移動電話通信料, 移動電話
電気代	[0.31]	
教養娯楽サービス	[0.31]	国内パック旅行費, インターネット接続料

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

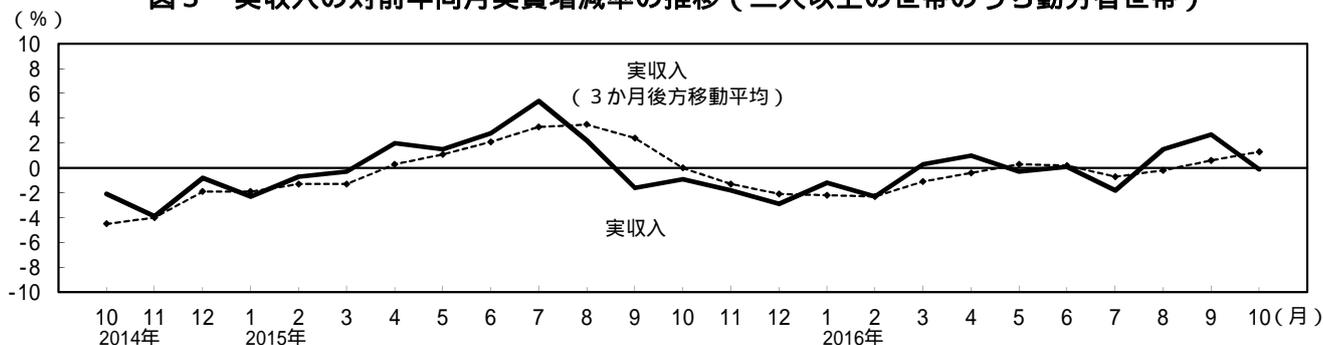
## 実 収 入

勤労者世帯の実収入は、1世帯当たり 485,827 円  
前年同月比 実質 0.1%の減少 名目 0.1%の増加

### 3 勤労者世帯の収支

#### (1) 勤労者世帯の実収入の推移

図3 実収入の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	2015年			2016年										
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
実 収 入	-0.9	-1.8	-2.9	-1.2	-2.3	0.3	1.0	-0.3	0.1	-1.8	1.5	2.7	-0.1	
(参考)3か月 後方移動平均	名 目	0.2	-1.1	-1.8	-2.0	-2.2	-1.0	-0.4	0.1	-0.2	-1.1	-0.6	0.1	1.0
	実 質	0.0	-1.3	-2.1	-2.2	-2.3	-1.1	-0.4	0.3	0.2	-0.7	-0.2	0.6	1.3

#### (2) 勤労者世帯の収支の内訳

表2 収支の内訳(2016年10月 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	485,827	0.1	-0.1	-	3か月ぶりの実質減少
世 帯 主 収 入	351,008	-0.7	-0.9	-0.62	3か月ぶりの実質減少
定 期 収 入	344,868	-0.4	-0.6	-0.45	3か月ぶりの実質減少
配 偶 者 の 収 入	58,992	2.1	1.9	0.22	2か月連続の実質増加
他 の 世 帯 員 収 入	8,197	20.2	20.0	0.28	7か月連続の実質増加
非 消 費 支 出	80,968	0.6	-	-	2か月ぶりの増加
可 処 分 所 得	404,859	0.0	-0.2	-	3か月ぶりの実質減少
消 費 支 出	305,683	-1.3	-1.5	-	6か月連続の実質減少
平均消費性向(%)	75.5	(前年同月)(ポイント差) 76.5 -1.0			季節調整値でみると70.9%で、前月に比べ1.1ポイントの低下となった。

注1 「非消費支出」とは、税金や社会保険料など、世帯の自由にならない支出である。

「可処分所得」とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

「平均消費性向」とは、可処分所得に対する消費支出の割合である。

2 実収入には、勤め先収入(世帯主収入、配偶者の収入及び他の世帯員収入)のほか、事業・内職収入、社会保障給付、財産収入などが含まれる。